9 8 夏合宿 ルール試験問題

氏名 _____

下記の文で、正しければ 誤りであれば×印を () に記入しなさい。

- 1 . () ラインアウトにおいて、ボールが5 m投げ入れられることを妨げるのはP Kである。
- 2 . () 故意に時間を空費することはP Kである。
- 3 . () ボールをラックの中に戻すことはF Kである。
- 4 . () スクラムにおいてボールを入れるプレーヤー及びその直接の相手が、スクラムの中にあるボールを蹴るのはP Kである。
- 5 . () 手または脚でスクラムの中のボールを拾い上げることはF Kである。
- 6 . () スクラムにおいて、フロントローが相手を宙に浮かせることはP Kである。
- 7 . () ボールまたはボールを持ったプレーヤーが、コーナーポストにふれた場合はタッチインゴールとなる。
- 8 . () プレーヤーはボールを持っていない場合には、自分がタッチまたはタッチインゴールにあってもトライすることができる。
- 9 . () スクラムの形成を故意に遅らせた場合にはF Kである。
- 10 . () F Kが与えられたので、キッカーが正しいチョン蹴りをした後に、ドロップゴールを成功させたので、その得点を認めた。
- 11 . () フェアーキャッチしたプレーヤーがその時に負傷したので、他のプレーヤーがキックすることを認めた。
- 12 . () ラインアウトにおいて、両チームはそれぞれラインオブタッチから50cm以上離れて立たなければならない。
- 13 . () ラインアウトにおいて、味方のプレーヤーがボールに向かって跳び上がる前に、そのプレーヤーをサポートしたのでP Kを科した。
- 14 . () 故意にボールをノックまたは投げて、タッチに出したのでF Kを科した。
- 15 . () P Kにおいてキックが非常に早く行われたために、10 m退くことができなかった相手側プレーヤーは、攻撃側のプレーヤーが5 m走れば競技に加わることができる。
- 16 . () ラインアウトで、ボールに向かって跳び上がるプレーヤーが、両手を頭上に上げていたが、外側の手でノックバックしたのでF Kを科した。
- 17 . () ボールがモールの中にある間に、あたかもボールがモールから出たと相手側に思わせるような素振りをしたのでP Kを科した。
- 18 . () スクラムが終了する前に、スクラムを離れたプレーヤーにF Kを科した。
- 19 . () 故意のノックオンには、P Kを科す。
- 20 . () キックオフのボールをフェアーキャッチすることは認められる。
- 21 . () スクラムの中で一番後方に足の位置するプレーヤーは、ボール投入と同時にバインディングを外し、出てくるボールを待ち受けることができる。
- 22 . () P Kで反則をしなかった側は、マークの地点においてスクラムを選択できる。
- 23 . () ラックが形成しているとき、後退しつつあるオフサイドプレーヤーは、相手側のプレーヤーがボールをパスすればオンサイドとなる。
- 24 . () スクラムを指示したが、時間が終了したのでノーサイドとした。
- 25 . () ラインアウトに並んでいるプレーヤーは、ボールが投入される前にラインオブタッチに沿ってポジションを変えてもよい。